

# 平成 26 年度中間事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

## I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

### 【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

### 【目標指数】

項目	H26(年間)	H26 前期実績(達成率)
当協会が企画する 国際理解講座数	42	21 (50.0%)

### 【事業実績】

#### 1 多様な交流や国際理解の推進

##### (1)国際理解出張講座

県内の学校や公民館・学習センター、各種団体など当協会役職員等が講師として出向き、県民を対象に外国の異文化や環境問題、貧困等世界規模の課題をより深く理解してもらうための国際理解講座を下記のとおり実施した。

○ 講座名と実施回数 計 21 回(前年同期比 150%)

A 外国人とトモダチ(3 回)

B 違って当たり前！～異文化理解のために～(2回)

C じゃがいも君とお話～偏見って何？～(1回)

D 世界がもし 100 人の村だったら(1回)

E これってアリ？～常識と非常識～(12回)

F 写真で学ぼう、世界の食卓(2回)

○ 内訳

No	月 日	場 所	対 象	参加 人数	講座名	講師名 (敬称略)
1	5月10日	福島市西学習センター	小学生	10	A	理事 布田節子

2	6月3日	福島大学	大学生	22	E	主任主査 幕田順子
3	6月26日	本宮市立白岩小学校	小学生	32	A	理事 布田節子
4	6月26日	本宮市立糠沢小学校	小学生	30	E	理事 布田節子
5	7月12日	国立福島工業高等専門 学校	高等専門 学校生	20	C	理事 布田節子
6	7月16日	福島市杉妻学習センター	一般	22	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
7	7月24日	福島市新町学童保育	小学生・保護者	30	A	理事 布田節子
8	7月28日	伊達市立桃陵中学校	英語教師	20	E	理事 布田節子
9	8月2日	小野町多目的研修集 会施設	小学生・一般	40	B	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
10	8月27日	本宮市立五百川小学 校	小学生	50	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
11	8月27日	本宮市立岩根小学校	小学生	54	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
12	9月4日	学法福島高等学校	高校生	90	E	理事 布田節子
13	9月4日	学法福島高等学校	高校生	90	E	理事 布田節子
14	9月10日	本宮市立第二中学校	中学生	99	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
15	9月10日	本宮市立まゆみ小学 校	小学生	52	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
16	9月11日	本宮市立第一中学校	中学生	25	E	理事 布田節子
17	9月11日	本宮市立和田小学校	小学生	28	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
18	9月11日	本宮市立本宮小学校	小学生	56	B	国際交流員 ビビアン・ヒ
19	9月13日	田村市社会福祉協議 会	小学生	40	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子

20	9月18日	伊達市立伊達小学校	小学生	81	E	理事 布田節子
21	9月20日	郡山ザベリオ学園中学校	中学生	60	D	理事 布田節子

(のべ参加者数 951 名)

## (2)ふくしまグローバルセミナー2014

福島県国際理解教育ネットワーク(構成団体:福島県、福島県教育委員会、JICA二本松、当協会)の主催により、12月20日～21日にかけてJICA 二本松で行われる県民対象のセミナー開催に向けて、国際協力、多文化共生などに関わる様々テーマの講座を実施するため、3回にわたり打合せを行った。

## (3)ワン・ワールド プロジェクト

外国出身者と地域住民とが、お互いの価値観に直に触れ、より深く異文化を理解することを目的として、協力し合って1つの作品を創り上げるため、打合せや準備を行った。

回	月 日	場 所	内 容	参加人数 (うち外国 出身者数)
1	8月2日(土) 13:30～16:30	当協会研修室	第1回打合せ(自己紹介、アイデアの出し合いとまとめ等)	9(3)
2	8月30日(土) 13:30～16:15	当協会研修室	第2回打ち合わせ(今後の日程及び進め方の決定等)	6(2)
3	9月13日(土) 13:30～16:15	当協会研修室・ 稲荷神社	第3回打ち合わせ(作品の方向性及び詳細の決定、取材等)	8(2)

(のべ参加人数 23 名 うち外国出身者 7 名)

## 2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

### (1)ふくしまユースグローバルカレッジ 2014

概ね 39 歳以下の県内大学生及び社会人を対象として、グローバル社会で活躍する次世代の人材を育成するため、様々な世界規模の課題をテーマとして開催する年間6回の連続講座のうち、下記のとおり3回を実施した。

回	月日及び会場	内 容	講師(敬称略)	参加人数 (うち外国出身 者数)
1	6月21日 (土)10:00 ～22日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多様性	布田節子(ふくしま青年海外協力隊の会) 高橋司(ふくしま青年海外協力隊の会) 松井美樹(グロカレ1期生) 日下部喜美子(グローバル教育)	26(1)

			研究会ふくしま) 坂中澄子(ふくしま青年海外協 力隊の会)	
2	7月19日(土) 9:30~16:00 当協会	異文化コミ ュニケーシ ョン	布田節子(ふくしま青年海外協 力隊の会) 坂中澄子(ふくしま青年海外協 力隊の会) 日下部喜美子(グローバル教育 研究会ふくしま) 松井美樹(グロカレ1期生)	14(1)
3	9月6日(土) 9:30~16:00 当協会	メディア・リ テラシー	石川一喜 (拓殖大学国際開発研究所准 教授)	5(1)

(のべ参加人数 45名 うち外国出身者 3名)

## (2) 次世代の海外研修への助成

原則として 39 歳以下の県内在住者で、非営利の国際交流団体等が主催する海外研  
修プログラムに参加する2名に対し、総額 20 万円の助成を決定した。

## Ⅱ 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

### 【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパ  
ートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

### 【目標指数】

項目	H26(年間)	H26 前期実績(達成率)
外国出身のふくしま多 文化共生サポーター活 動人数	56	20(35.7%)

## 【事業実績】

### 1 安全・安心な地域づくりの推進

#### (1) 多言語による行政サービスの提供

##### 【多言語による相談窓口】

多言語相談員1名と通訳員3名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語については、毎週木曜日10:00～14:00（第4・第5木曜日は予約制）に、行政サービス受給や在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

○ 相談件数：250件（前年同期比145.3%）

○ 相談言語：日本語(139)、中国語(100)、タガログ語(5)、英語(4)、ポルトガル語(2)

○ トリオフォン利用件数：7件（前年同期比116.7%）

○ 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	日本 語	交流	医療	労働	家族	その他	合計
中国	48	12	10	15	7	6	17	115
日本	23	46	19	4	6	4	1	103
フィリ ピン	4	3	1			4	1	13
ブラジル	1		1				2	4
韓国	2	1						3
その他	1		5		3	1	2	12
合計	79	62	36	19	16	15	23	250

##### 【相談窓口等の広報カードの作成】

○ 発行月：8月

○ 仕様：名刺サイズ4ページ、単色刷り 200部

○ 内容：多言語相談窓口及びトリオフォンについての案内

○ 配布先：市町村国際交流担当課、市町村国際交流協会、保健福祉事務所、  
児童相談所等

#### (2) 多言語による相談対応

##### 【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳し、県

HPにアップし情報提供することを継続するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

- 相談件数：17件(前年同期比 81%)
- 相談言語：日本語(17)
- 主な相談内容と相談者の出身国
  - 中国出身者：中国の新聞社より放射線量の人体への影響について（1）
  - 日本：報道関係者等から在住外国人に関する問い合わせ（4）
  - 県内市町村や一般からの復興事業等に関わる通訳、翻訳の問い合わせ（6）
  - 他県の国際交流協会から寄附の問い合わせ（2）
  - その他、当協会発行報告書や保養プログラムの問い合わせ（4）

### (3)外国の子どものサポート

サントリーホールディングス×セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンによる「フクシマ スム プロジェクト 福島子ども支援 NPO 助成」の助成金を活用して、専従スタッフ1名を配置し、下記の事業を行った。

#### 【外国の子どもサポートセンターの開設等】

当協会内に、「外国の子どもサポートセンター」を4月1日付けで開設し、子どもの保護者や教育関係者、日本語ボランティア等の支援者からの、子どもへの支援の在り方や具体的内容についての相談、図書や教材に関する問い合わせ等に対応した。また、関係機関に対し訪問やパンフレット等の配付により周知を図るとともに、当協会HP上に専用のページを設けた。

#### 【帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会議】

県内3会場において、事例報告及び情報交換を行った。

	月日及び会場	内容及び講師	参加人数 (うち外国出身者数)
福島会場	6月6日(金) 13:30~16:00 当協会	[事例報告] ① 「学校で母語を活用した外国の子どもの支援について」 楊蕾さん(ふくしま多文化共生サポーター) ② 「地域ボランティア教室での外国の子どもの日本語支援について」 佐々木千賀子さん(ふくしま子どもの日本語ネットワーク代表) ③ 「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 大内剛さん(二本松市教育委員会学校教育課指導主事)	25(1)

郡山会場	6月11(水) 13:30 ～16:00 郡山市総合福祉センター	<p>[事例報告]</p> <p>① 「地域ボランティア教室での外国の子どもの日本語支援について」 三田真理子さん(こおりやま日本語教室代表)</p> <p>② 「学校で母語を活用した外国の子どもの支援について」 城坂愛さん(ふくしま多文化共生サポーター)</p> <p>③ 「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 須藤瑞穂さん(須賀川市教育委員会学校教育課指導主事)</p>	20(5)
会津会場	6月19日(木) 13:30 ～16:00 会津稽古堂	<p>[事例報告]</p> <p>① 「地域の外国の子どもの支援について」 馬嘉利さん(会津若松市国際交流協会国際交流員)</p> <p>② 「学校での外国の子どもの日本語支援について」 坂本砂知さん(ふくしま多文化共生サポーター)</p> <p>③ 「教育委員会としての外国の子どもの支援について」 小杉一浩さん(喜多方市教育委員会学校教育課指導主事)</p>	8(1)

(のべ参加人数 53名 うち外国出身者 7名)

### 【外国の子ども支援者研修会】

県内3会場において、下記のとおり同じ内容で研修会を実施した。

	月日及び会場	内容及び講師	参加人数 (うち外国出身者数)
1	7月13日(日) 10:00～15:30 会津若松市南公民館	<p>[講話1]</p> <p>テーマ: 母語話者ができるサポート 講師: 楊蕾さん(ふくしま多文化共生サポーター)</p>	7(3)
2	8月24日(日) 10:00～15:30 当協会	<p>[講話2]</p> <p>テーマ: 母語による早期適応支援でおさえたいサポート 講師: 長藤節子さん(山形子どもサポートネット代表)</p>	21(13)
3	9月7日(日) 10:00～15:30 郡山市ニコニコ子ども館	<p>[グループワーク]</p> <p>講演内容の振り返り及び想定した子どもについての支援内容や順序についての意見交換</p>	16(5)

(のべ参加者数 44名、うち外国出身者 21名)

【外国の子どもに対するサポーター活動のコーディネート】

外国の子どもに対するサポーター活動について、次のとおりコーディネート及び一部において活動経費の支援を行った。なお、※は、当協会が活動経費を支援したケースである。

No	期間（のべ時間）	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者数)
1※	4月4日～6月10日(52時間)	県南地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(1)
2※	4月16日～7月10日(50時間)	県南地方 中学校	中国出身生徒への心のケア、早期適応支援、日本語指導	2(1)
3	6月13日～11月中旬(48時間予定)	県北地方 中学校	フィリピン出身生徒への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
4※	6月4日～11月中旬(50時間予定)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
5	6月27日～11月中旬(48時間予定)	県北地方 小学校	フィリピン出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
6	9月2日～11月中旬(50時間予定)	県北地方 小学校	中国出身児童への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
7※	9月24日～12月中旬(50時間予定)	会津地方 小学校	オーストラリア出身児童(2名)への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(0)
8※	9月24日～12月中旬(50時間予定)	県中地方 中学校	中国出身生徒への心のケア、早期適応支援、日本語指導	1(1)

(のべ活動人数9名 うち外国出身者3名)

【外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣】

No	月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者数)
1	5月13日	県南地方 小学校	パキスタン出身児童及び保護者への学校生活についての通訳	1(1)



2	9月17日	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校 生活についての通訳	2(2)
3	9月25日	県中地方 中学校	中国出身児童及び保護者への学校 生活についての通訳	1(1)

(のべ活動人数4名 うち外国出身者4名)

#### (4) 外国出身子どもへの支援活動団体への支援

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の活動において、会場使用料の減免等のサポートを行った。

#### (5) 防災訓練への参加

県主催の「平成26年度福島県総合防災訓練」に参加し、訓練参加団体に対して、当協会の概要、災害時に外国出身者への配慮が必要であること及びその方法等の周知を図った。

- 日 時：8月31日（日）8：30～12：00
- 会 場：須賀川市民スポーツ会館
- 参加者：7名（うち外国出身者6名）
- 内 容：指定避難所開設訓練及び災害ボランティアセンター設置・運営訓練における外国出身者避難者役及びボランティア役としての参加、避難所内での外国語表示、ブース設置による通訳・翻訳コーナーの開設、当協会業務の広報等

#### (6) 「福島生活（中国語版）」「Fukushima Life(英語版)」の提供

- 発行月：毎月1回
- 内 容：イベントレポート、生活情報、外国出身者からの投稿記事などの最新情報をWEBで発信した。

## 2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

---

#### (1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介し、また当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

【登録者数】

○人数：153名（前年同期比 119.5%）

内訳：日本（71）、中国（32）、韓国朝鮮（14）、フィリピン（16）、タイ（3）、ベトナム（2）、インド（2）、アメリカ・インドネシア・トンガ・ブラジル・アルゼンチン・エジプト・モンゴル・ルワンダ・ポーランド・メキシコ・パキスタン・ウクライナ・オーストラリア（各1）

○内訳（複数登録あり）

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	その他の言語		
県北(80)	36	18	12	10	22	38	136
県中(41)	18	14	7	1	12	25	77
県南(7)	4	2		3	1	4	14
会津(11)	5	4	1		4	5	19
いわき(8)	4	3		2	3	5	17
相双(3)	1				3	1	5
県外(3)	2	1			1	1	5
合計(153)	70	42	20	16	46	79	273

【コーディネーター総数】

件数：27件（前年同期比 169%）

人数：31名（前年同期比 86%）

内訳

① 外国の子どもに対する支援（帰国・外国籍児童生徒等の早期適応のためのサポーター事業）

○ 件数：11件（前年同期比 550%）

○ 人数：13名（前年同期比 650%）

② 公的団体等からの依頼

○ 件数：13件（前年同期比 108.3%）

○ 人数：15名（前年同期比 71.4%）

○ 内訳

No	実施 月日	場所	内容	依頼者	活動人数 (うち外国出 身者)
1	4月17日	—	あいさつ文の翻訳（フランス語）	福島県国際課	1(0)
2	4月17日	伊達市役所保 原本庁舎	インドネシアの紹介	伊達市国際交 流協会	1(1)
3	4月25日	福島県庁ほか	農業研修生表敬訪問時 等の通訳（マレー語）	一社）福島県 国際農友会	1(0)
4	5月9日	福島警察署	弁護士接見時の通訳 （中国語）	福島県弁護士 会	1(1)
5	5月30日	福島県庁ほか	県費留学生表敬訪問時 等の通訳（ポルトガル 語）	福島県国際課	1(1)
6	6月23日	伊達市石戸地 区交流館	インドネシアの紹介	伊達市石田ナ イスミセス学 級	1(1)
7	7月12日	中島村生涯学 習センター	マレーシアの紹介	中島村国際交 流協会	1(1)
8	7月24日	福島運転免許 センター	日本の運転免許への切 替え時の通訳（英語）	二本松市教育 委員会	1(0)
9	8月19日	福島県学校給 食会	韓国の薬膳料理につい ての講話	福島県学校給 食研究会栄養 士部会県北方 部	1(1)
10	8月26日 ～29日	ホテル辰巳屋 ほか	在外県人会サミット全 プログラムにおける通 訳（スペイン語）	福島県国際課	1(1)
11	9月17日	福島市清水学 習センター	フィリピンの紹介	福島市清水学 習センター高 齢者学級	1(1)
12	9月19日 ～20日	福島テルサほ か	日本語教育に関する会 議における受付等	文化庁	3(2)
13	9月26日	(株)ケアサポか おる桑折事務 所	中国の介護の実情につ いての講演	介護保険を考 える会桑折支 部	1(1)

(のべ活動人数 15名 うち外国出身者 11名)

③当協会主催事業への参加

○ 件数：3件（前年同期比 108.3%）

○ 人数：3名（前年同期比 71.4%）

○ 内訳

No	実施 月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出 身者)
1	6月6日	当協会	帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会 議での事例報告	1(1)
2	6月11日	郡山市総合福 祉センター	帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会 議での事例報告	1(1)
3	6月19日	会津稽古堂	帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会 議での事例報告	1(0)

(のべ活動人数3名 うち外国出身者2名)

(2) 外国出身者コミュニティとの協働事業

災害時における外国出身者コミュニティの自助力・共助力の向上、情報伝達や状況把握のキーステーションとしての役割の強化を図ることを目的として、下記のとおり外国出身者コミュニティと当協会とで協働事業を実施し、外国出身者コミュニティの組織運営能力の強化及び当協会とのネットワークの構築を図った。

No	実施 月日	場 所	外国出身者コミ ュニティの名称 (協働先)	内 容	参加 人数
1	7月12日	須賀川市立大 東公民館	つばさ一日中ハ ーフ試演会	講習会「日本の教育制 度を知りましょう」	12(12)
2	8月29日	いわき市文化 センター	いわきフィリピ ーノコミュニテ ィ	ストレスマネジメン トワークショップ	16(16)

(のべ参加人数28名 うち外国出身者28名)

### III 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

**【目標】**

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など国際交流活動を行っている多様な関係団体との調整・連携を一層強化し、国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

## 【目標指数】

項目	平成 26 年度 年間目標	平成 26 年度 前期実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	910	431 (47.4%)
HP トップページ※ アクセス数	115,000	26,526(23.1%)

※HP 訪問者数（同じ人が1日複数回訪問しても1人とカウント） 112,353人（前年同  
期比 71.0%）

## 【事業実績】

### 1 人材育成やネットワーク化の推進

---

#### (1) 日本語教室の活動支援

日本語教室メーリングリストを活用し、研修会等の情報提供や外国出身者に対する地域の日本語教室の案内及び日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

#### (2) 市町村国際交流協会等との連携強化

##### 【「Move Forward #ハワクカマイ」への出展】

- 主 催：ハワクカマイフクシマ
- 日 時：5月18日（日）11:00～15:00
- 場 所：福島市街なか広場
- 参加者：一般 100名
- 内 容：当協会事業を紹介するとともに、多言語相談員による生活相談コーナー、外国出身県民2名の協力を得た異文化理解クイズなどを通じ、県民との交流を行った。

##### 【結・ゆい・フェスタへの出展】

- 主 催：福島市国際交流協会
- 日 時：9月14日（日）10:30～15:30
- 場 所：福島市アクティブシニアセンターA0Z
- 参加者：一般 800名
- 内 容：当協会事業を紹介するとともに、外国出身県民3名の協力を得た文化理解クイズなどを通じ、県民との交流を行った。

【市町村国際交流協会への訪問】

- 期 間：4月、7月
- 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市の計 10 市町国際交流協会及び会津坂下町の国際交流担当部署
- 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

## 2 相談・情報提供

(1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：164 件(前年同期比 116.3%)
- 内訳

相談者 \ 相談内容	協会業務	人の紹介	団体運営	国際理解教育	通訳翻訳	イベント情報	国際化の現状	日本語関係	留学語学	その他	合計
一般	13	5			3	5		1	3	3	33
教育関係者	3	5	2	16	1	2				2	31
国際交流・協力団体	4	1	16	1		1	2				25
市町村国際交流協会	4	3	8	3	1		1	2			22
行政関係	4	5		4	5						18
報道関係者	1	9			2	1	3				16
各種団体等	2	2	2	2	1		1				10
県外	3	3	2			1					9
合計	34	33	30	26	13	10	7	3	3	5	164

(2) 広報紙「G y r o (ジャイロ)」の発行

- 発行月：8月
- 仕 様：A4版8ページ、表紙・裏表紙カラー刷り、3,000部

- 内 容：当協会の主催事業（外国の子どもサポート事業等）の案内、平成 25 年度事業報告（震災復興関連）、理事長メッセージなど
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

### (3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を 1 名配置し、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新や県内日本語教室情報など、国際交流等の各種事業について迅速で効果的な情報提供を行った。

#### 【ホームページの更新】

ホームページの内容更新やリンク切れの確認などを逐次行った。ホームページの最新情報の更新については、即時実施するよう努めた。

- トップページアクセス件数：26,526 件（前年同期比 60.8%）
- ホームページ訪問者数：112,353 人（前年同期比 71.0%）

#### 【メールマガジン】

国際交流に関する身近なイベント情報などをメールマガジンで発信した。

- 登録者数：205 名（前年同期比 106.8%）
- 発信回数：13 回（前年同期比 108.3%）

## 3 調査研究・提言

---

### (1) 日本語教室活動実態調査

日本語を学びたい外国出身県民や、日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の最新の活動状況を提供するため、県内の日本語教室の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：8 月
- 登録団体：33 団体（休止中 1 団体を含む）

### (2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流・協力団体の最新の活動状況を提供するため、各団体の実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：8 月
- 登録団体：103 団体（市町村国際交流協会 24 団体、日本語教室 33 団体を含む）

## 4 協働事業の推進

---

### (1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に団体の所在地があり団体運営に必要な事項を定めた会則等、活動実績等を有する非営利の民間団体6団体の6事業に対し、総額45万円の助成を決定した。

## IV 世界に向けた福島の発信

### 【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

### 【事業実績】

## 1 情報の発信

---

### (1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、国内外に向けて福島の復興が進む現状を多言語で発信した。

#### 【ホームページ上での掲載】

- 発行回数：月3～4回ブログ発信
- 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語の6か国語
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他

#### 【印刷物】

- 発行月：7月
- 発行部数：日本語1,000部
- 仕様：A4版 2ページ 両面カラー刷り
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他



## V その他

### 1 関係機関への講師等派遣

関係機関主催事業に対し、講師等として当協会職員を派遣した。

月日	主催者	事業名等	役職員名
5月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員	専務理事 斎藤 隆
5月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま専門部会委員	主任主査 幕田順子
7月3日	ふくしま復興支援フォーラム	外国出身県民にとっての東日本大震災・原発事故	専務理事 斎藤 隆
9月18日	東海北陸地域国際化協会連絡協議会	災害時における外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会	専務理事 斎藤 隆

### 2 東日本大震災・原発事故被災地視察団への支援

#### (1) 日米協会教員研修ツアー(福島視察)

- 主 催：日米協会
- 月 日：7月16日(水)～17日(木)(1泊2日)
- 参加者：アメリカの高等学校等教員8名、日米協会教育部長・副部長 計10名
- 視察先：福島市立清明小、除染情報プラザ、二本松岳下仮設住宅、相馬市内、相馬野馬追展示(香の蔵)、南相馬ソーラー・アグリパーク、浪江町内

### 3 インターンシップ等の受け入れ協力

#### (1) 新潟大学インターン生

- 期 間：9月16日(火)～17日(水)(2日間)
- インターン生：新潟大学3年生1名
- 内 容：当協会事務所内での各種業務の体験、青年海外協力隊派遣前訓練修了式の視察等